

11月14日は「世界糖尿病デー」



1991年、国連は世界に広がる糖尿病の脅威に対応するため11月14日を「世界糖尿病デー」と指定しました。この日は、インスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日であり、画期的な発見に敬意を表したのです。

「世界糖尿病デー」は、世界160カ国から10億人以上が参加する疾患啓発の日で、この日を中心に糖尿病の予防や治療継続の重要性について周知する重要な機会となっています。

キャンペーンには、青い丸をモチーフにした「ブルーサークル」が用いられます。国連やどこまでも続く空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインし、“Unite for Diabetes”（糖尿病との闘いのため団結せよ）というキャッチフレーズとともに、世界中で糖尿病抑制を推進しています。

出典：世界糖尿病デー公式ホームページ

【全国糖尿病週間 2021年テーマ アドボカシー偏見にNO!】

アドボカシーとは、「権利擁護」や「代弁」などという意味をもつ言葉です。

糖尿病に対する社会からの偏見と差別が、患者さんに社会的・経済的不利益を与え、自身の社会的地位と自尊感情を著しく損なっている状態を「糖尿病スティグマ」といいます。糖尿病スティグマがあると、治療機会の喪失から糖尿病の増悪を招く恐れがあります。そこで、糖尿病を正しく理解し不当な偏見をなくすため、今年の全国糖尿病週間では、『アドボカシー偏見にNO!』というテーマが掲げられました。

当院でもスティグマを付与しないよう、患者さんの権利を守った医療を行ってまいります。

世界糖尿病デー公式ホームページには、糖尿病に関する情報や、全国各地の世界糖尿病デーに合わせたイベント情報が掲載されています。

<世界糖尿病デー公式ホームページ>

<https://www.wddj.jp/>



荏原病院世界糖尿病デーイベント



【荏原病院テーマ】

糖尿病だとコロナが重症化しやすいって本当？

荏原病院では、毎年世界糖尿病デーに合わせて院内でイベントを開催しており、今年度は、病院ホームページに情報を掲載し、院内各所で冊子を配布しています。

『糖尿病だとコロナが重症化しやすいって本当？』をテーマに医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、臨床検査技師等からの情報、アドバイスをまとめました。

新型コロナウイルスに罹った場合の重症化のしやすさに関しては、年齢のほか、心疾患や呼吸器疾患の基礎疾患がありますが、加えて肥満や糖尿病もそのリスク因子である可能性が高いと考えられています。特に、血糖コントロールが不良な場合に死亡リスクが顕著に上昇しています。血糖コントロールを良好に保つためのポイントや、新型コロナウイルスに罹ってしまった時の基本的な対応方法を掲載しましたので、荏原病院ホームページお知らせ・ニュース欄の糖尿病チームや配布冊子をご覧ください！

～外来受付や1階情報コーナーで冊子を配布しています！～

ホームページは、QRコードからご覧いただけます！



青い冊子が目印です！



糖尿病講習会について

新型コロナウイルス感染予防のために中止していましたが、年明けから開催を予定しています。講習会開催の詳細は、ホームページに掲載しますのでご確認ください。

月	内容（予定）	講師
1月	知って安心！糖尿病治療薬に関する最新の話	薬剤師
	糖尿病と歯周病	歯科医師
2月	糖尿病の足病変について	医師
	知っておきたいフットケア	看護師

※内容は変更となる場合があります。

感染予防対策を徹底いたしますが、状況により急遽中止となる場合があります。